

吹田歴史文化まちづくりセンター指定管理者候補者選定委員会（第三者モニタリング）議事概要

1 開催日時

令和7年1月21日（火） 開会 午後3時00分 閉会 午後5時00分

2 開催場所

吹田歴史文化まちづくりセンター 会議室

3 次第

- （1）開会の挨拶
- （2）委員長及び副委員長の選任
- （3）諮問
- （4）第三者モニタリング評価
 - ア モニタリングの手順について
 - イ 市の評価に対する確認
 - ウ 各委員の評価（指定管理者のヒアリング）
- （5）答申

4 出席委員

北詰 恵一	委員長	（関西大学環境都市工学部 教授）
三輪 信哉	副委員長	（大阪学院大学国際学部 教授）
小寺 留一	委員	（吹田市文化団体協議会 相談役）
須貝 昭子	委員	（特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお 理事長）
近藤 佑大	委員	（近畿税理士会吹田支部）

5 欠席委員 なし

6 公開・非公開の別 非公開・公開

理由：吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針の第9項第2号（イ）及び（ウ）、吹田市情報公開条例第7条第3号及び第4号の規定による。

7 議事概要

【1 管理運営内容について】

- （A委員） 最低賃金の引き上げ等あり経費が増えている中で経費削減や環境配慮において省エネルギー、省資源等環境への配慮で何か取り組まれていることはあるか。
- （指定管理者） 電気のLED化や庭の管理について時間を決めて散水するなどできる限りのことを行っている。また、事業実施時に冷暖房をこまめに調整することやマイ箸・マイお椀を持参するよう促すこと、職員の時間外労働削減を行っている。

- (B 委員) 最低賃金の引き上げについてどのように考えているか。新規採用にあたって障壁になっているか。
- (指定管理者) 最低賃金の引き上げに応じて時給も引き上げており、今まで最低賃金より少し上乗せした金額で採用してきた。今年度に入り、経理担当の職種を募集したが賃金が高団体の募集に比べ低いことから採用には至らなかった。
- (C 委員) ボランティアの方が多くいる施設なので、人材育成において最低賃金以上でないと人が集まらない状況も踏まえ、人件費の確保は指定管理者として死守すべきであり、市への声をあげていく必要がある。
- (指定管理者) 今いるボランティアについては開館当初から続けている方が多く、ボランティアの高齢化が著しい。今後は、吹田市は学生の街でもあることから学生と地域の関わりや人との関わりの中としてボランティアを通して地域のことを学んでもらう場となるよう検討していきたい。
- (B 委員) 大学側としても学生をボランティアに送り出すにあたり、単なる汗をかくボランティアではなく、学生にとって学びのあるボランティアとなるような先に学生を送り出したいと考えている。
- (C 委員) 浜屋敷は吹田の財産でもあり、色んなところに発信していくために指定管理者だけでなく、利用者の方に事業の賛同者として発信してもらえるような道筋ができれば良いのではないかと。若い方でボランティアとして参加されている方はどれくらいいるか。
- (指定管理者) 50 代以下は 90 名程度。3 歳から小学 3 年生ぐらいの子供たちと大学生のボランティアが遊び場として「ぼかぼかひろば」という事業があり、大学を卒業されてからも自分の子供を連れてきてボランティアとして活動している。また、年に 2 回手づくり市という浜屋敷の中で 50 ブースぐらい出展いただくイベントを実施しているが、出展者自ら SNS を活用しイベント告知やイベント状況を拡散している。

【2 利用者満足度について】

- (A 委員) YouTube や SNS 等の発信について、反響や利用者の満足度に繋がっているか。また、動画の再生回数を増やす方策や SNS の効果的な発信について何か工夫されているか。
- (指定管理者) 令和 5 年（2023 年）から Instagram を開始。1 年間は浜屋敷を知ってもらうことを目的に季節の移り変わりをメインに写真を投稿してきた。令和 6 年からは浜屋敷のイベントを知ってもらうために動画投稿を行うようにしている。また、現在浜屋敷の理事に SNS 発信に長けている方がいるので、その方に投稿の仕方や拡散をお願いしている。その結果、動画を見て来館される方もいるため、一定効果は出始めている。
- (C 委員) 海外の観光客が公共施設を訪れるようになりつつある中で、浜屋敷のような歴史的建造物に魅力を感じている方も多くいる。海外の観光客へのアピールはしているか。
- (指定管理者) 吹田市国際交流協会との共催事業を実施したり、毎年ヨーロッパの学生等がホームステイをしながら日本全国を回るワールドキャンパスというプログラムの一部と

して、一昨年から浜屋敷で地域の方々と市民交流の場として受け入れをしている。参加者は日本家屋の畳や縁側などお寺や神社とは違う日本らしさを感じられているとのことだ。

(B 委員) 海外の観光客が来館された時に、外国語の対応はどのようにしているのか。

(指定管理者) 英語、韓国語、中国語のパンフレットやポケトークを用意している。また、事前に海外の団体が来館される連絡があれば対応できるようには準備している。

(D 委員) 最近では YouTube や SNS を活用していることから距離の抵抗はなくなってきているかと思うがどうか。また、市内公共施設との連携についてはどうか。

(指定管理者) 浜屋敷の事業においてアンケートを全て取っている。アンケートの中に居住エリアのチェック欄があり、集計をみていると遠方の方が少しずつ増えてきている。ラコルタや吹田市国際交流協会とは既に連携して事業を行っている。今後は青少年サポートプラザをゲストスピーカーとも、子供たちの居場所づくりという観点から連携を進めていきたい。

【3 サービスの提供の継続性及び安定性について】

(A 委員) 赤字については想定できる赤字であり、すぐに資金繰りが厳しくなることはないと思う。

(指定管理者) 最悪の状況は、台風や地震など指定管理者の手に負えない災害が起きた時だと想定している。

(A 委員) 貴協会として最悪の状況が起こった場合に手元に基本的に3か月の運転資金があれば健全と思われるので、その数字を基に一度考えてみてはどうか。

(B 委員) 以前、台風や大阪北部地震の自然災害があったが、今後同様あるいはそれ以上の災害が起きた際、浜屋敷のような施設は災害拠点となることもあると思うが、そのようなりスクは想定しているか。

(指定管理者) 現在のところ災害時の避難場所に指定されていないが、なし崩し的に避難されるケースも可能性としてはある。

(事務局) 市の地域防災計画において、浜屋敷は避難所に指定されていないが阪神淡路大震災後の耐震基準はクリアしており、被害の状況によって優先順位は低いが臨時避難所となる可能性はある。ただ、最寄りの避難所への誘導を優先していただきたい。

【4 答申について】

(D 委員) YouTube や SNS での積極的な発信等、十分に評価できる。YouTube の再生回数や SNS のフォロワー数など定量的な数字で計ることもできるが、市報やパンフレットだけでなく、SNS を見て遠方からでも来館してもらえるよう今後期待したい。

(B 委員) 概ね良好と評価した。それぞれ各項目において意見はあると思うが、総合的に見て問題なく施設運営されていると評価する。

(E 委員) 年々事業内容が良くなってきていると思う。市内の連携や SNS の発信等課題はあるが少しずつ改善されていることから概ね良好と評価する。

(C 委員) 予算執行の様子もしっかりと裏付けがあり適正に運営されていると改めて感じた。

概ね良好な評価としているが、まだ伸びしろがあり期待を込めての評価である。アンケートを活用しており、市民の声を拾いどういかしていくか、魅力度アップも含め今後期待したい。

(A委員) 全体的に適正に実施されている。経費削減や財産状況をメインに見ていたが、指定管理者自身がどのような財政状態が一番適切と思っているか自分なりに持つておくべきだと思う。また、経費削減の点でLED化を進めているとの事であるが、市の貴重な文化財であり歴史や文化の趣を大切にしていくのであれば全館LED化にしようのほうか。例えば事務所だけLED化し、和室等はハロゲンのままという方法も検討して欲しい。

(委員長) 当委員会としてのモニタリング評価について確定したい。評価の案としては、次のとおり。

- 1.当施設の指定管理者による管理運営は、適正に実施されていることが確認できた。
- 2.当施設の指定管理者による管理運営は、一部課題があるが、概ね適切に実施されていることが確認できた。
- 3.当施設の指定管理者による管理運営は、改善が必要である。

委員の皆様の意見をまとめると、1.当施設の指定管理者による管理運営は、適正に実施されていることが確認できた。と評価できるがどうか。

(各委員) 異議なし。

8 閉会